

「2023年度第1回グリーンチャンネル放送番組審議会」議事の概要

1. 日 時 2023年6月11日（日）11:00～12:35

2. 場 所 東京競馬場 会議室

3. 出席者

委 員：石井秀司委員長、小林善一郎副委員長、有吉正徳委員、井口保子委員、
塩田忠委員、白川次郎委員、山田隆雄委員

財団側：横山清弘理事長、成沢裕常務理事、鳩山正仁常務理事、
藤川洋史理事（兼経営企画部長）、住吉恵編成制作部長

4. 内 容

(1) 【報告】2022年度第2回放送番組審議会の議事概要の公表について

(2) 【審議】2022年12月4日～2023年6月11日の放送番組について

(3) 【審議】指定番組について

①水曜馬スペ！『馬場管理の舞台裏3～京都競馬場・馬場改造～』（4月5日放送）

②競馬ブロス#3（4月18日放送）

5. 議事概要

審議に先立ち、財団側から2022年度第2回放送番組審議会の議事概要及びホームページ公表日時（2022年12月16日（金）午前10時）について報告を行った。

【審議】2022年12月4日～2023年6月11日の放送番組について

委員の発言、財団側の説明

<競馬法100周年特別番組>

・競馬法定の歴史という学術的なテーマと、勝馬投票（馬券）の変遷という視聴者にとって柔らかな（受け入れやすい）テーマの構成となっており、大変バランスの良い作りとなっていた。競馬の業務に携わる方にとっても見応えのある番組になっていたと思う。

・当初は難しい内容の番組ではないかと感じていたが、実際視聴してみると大変面白く、気付くと没頭して見入っていた。競馬ファンの方にも競馬の歴史を感じてもらえる内容だと思う。今後も再放送してほしい。

⇒番組内で使用している映像等の権利の関係で、再放送回数に限りがあることをご了承願いたい。

<ALL IN LINE！2023～世界の競馬～>

・日本に所縁のあるオーギュストロダンが勝利した英ダービーを中継できたのは大変良かった。また、ドローン映像によるエプソム競馬場コース紹介も非常に興味深かった。改めて、グリーンチャンネルの強みを発揮できた番組だと感じる。

・今回のように JRA で海外馬券を発売しないレースでも出走馬の調教映像を紹介できないか。

⇒本番組について、基本的には海外主催者から提供されるレース当日の映像で構成されていること、さらに日本とは調教場所・方法等や取材方法も異なるという事情もあることから、調教映像の確保はなかなか難しい。

<新・馬学講座ホースアカデミー>

・競馬専門チャンネルであるグリーンチャンネルならではの番組であると認識している。一般の競馬ファンの方には難しい内容となってしまうが、競馬産業に携わる方々にとっては興味深く視聴いただける番組だと感じる。

<競馬場の達人>

・先日、ゲストとしてボートレースの高名な元トップレーサーの方が出演されていた。また、いろいろな業界で活躍されている方、知名度の高い方が登場しており、見応えのある番組になっていると思う。

・その一方で、ゲストの中には馬券初心者の方もいるようだ。ゲストの馬券歴によって競馬ビギナー向け、競馬コアファン向けと意識して番組作りをしてみてもどうか。

⇒貴重なご意見として頂戴したい。

【審議】 指定番組について

①水曜馬スベ！『馬場管理の舞台裏3～京都競馬場・馬場改造～』（4月5日放送）

委員の発言・財団側の説明

・馬場の取材に長く携わっている方が、馬場改造を担当した JRA 京都競馬場職員にインタビューしながら約 2 年半に及んだ工事内容を説明しており、一見すると難しいと感じる「馬場改造」というテーマが丁寧に作りこまれていた。視聴者にとってわかりやすく、興味を喚起する内容だったと思う。

・地方競馬の馬場担当者やゴルフ場のグリーンキーパー等、他業界の方々にも視聴いただきたい内容である。

・昔から京都競馬場が水はけ問題で苦勞していたエピソードを紹介する際、それを象徴するようなレース映像があったら、さらに説得力が出たのではないかと感じた。

⇒貴重なご意見として頂戴したい。

②競馬ブロス # 3（4月18日放送）

委員の発言・財団側の説明

・ゲストの調教師に質問する際、1時間という限られた放送時間の中で、テーマを広く扱うことも大切であると認識しているが、あるテーマ（例えば厩舎を運営する中で変化してきたであろう調教内容や飼養管理など）について掘り下げが足りないと感じた。

・ゲストの調教師の方の競馬への思いや人柄の良さが番組を通じて良く伝わってきて

おり、1時間楽しく視聴することができた。競馬初心者の方も安心して見ることができるのではないかと。

- ・競馬関係者の方をゲストに招くトーク番組については、本番組以外にも『草野仁のGate J.プラス』や『鈴木淑子のホースマンに乾杯』などがある。これらの番組との違いを具体的にどう考えているのか。

⇒本番組は6月11日時点で10回目の放送を終えたところであり、財団としてもこのタイミングを捉え、これまでの放送内容について財団内でしっかりとレビューを行い、今後に向けてより良い番組作りを考えるべき時期だと思っていたところ。ゲストに関しても、調教師・騎手の方に加えて、どのような方をお招きすることが視聴者の期待に応えられるのか検討していく所存。

以上